

2024年3月期 第2四半期 決算説明資料

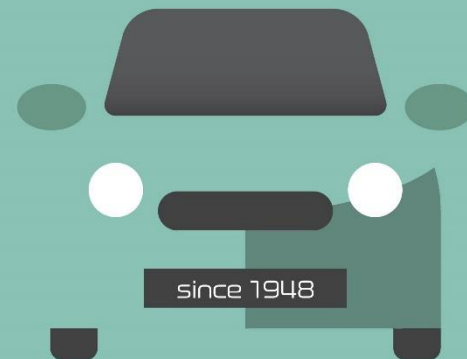


 **日本プラスト株式会社**

I. 2024年3月期第2四半期 決算報告

II. 2024年3月期 通期見通し

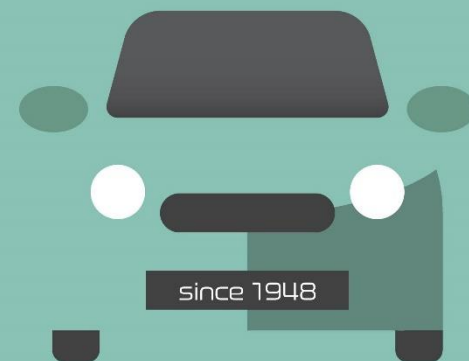
III. トピックス



I. 2024年3月期第2四半期 決算報告

II. 2024年3月期 通期見通し

III. トピックス



(1) 概要



(単位：百万円)

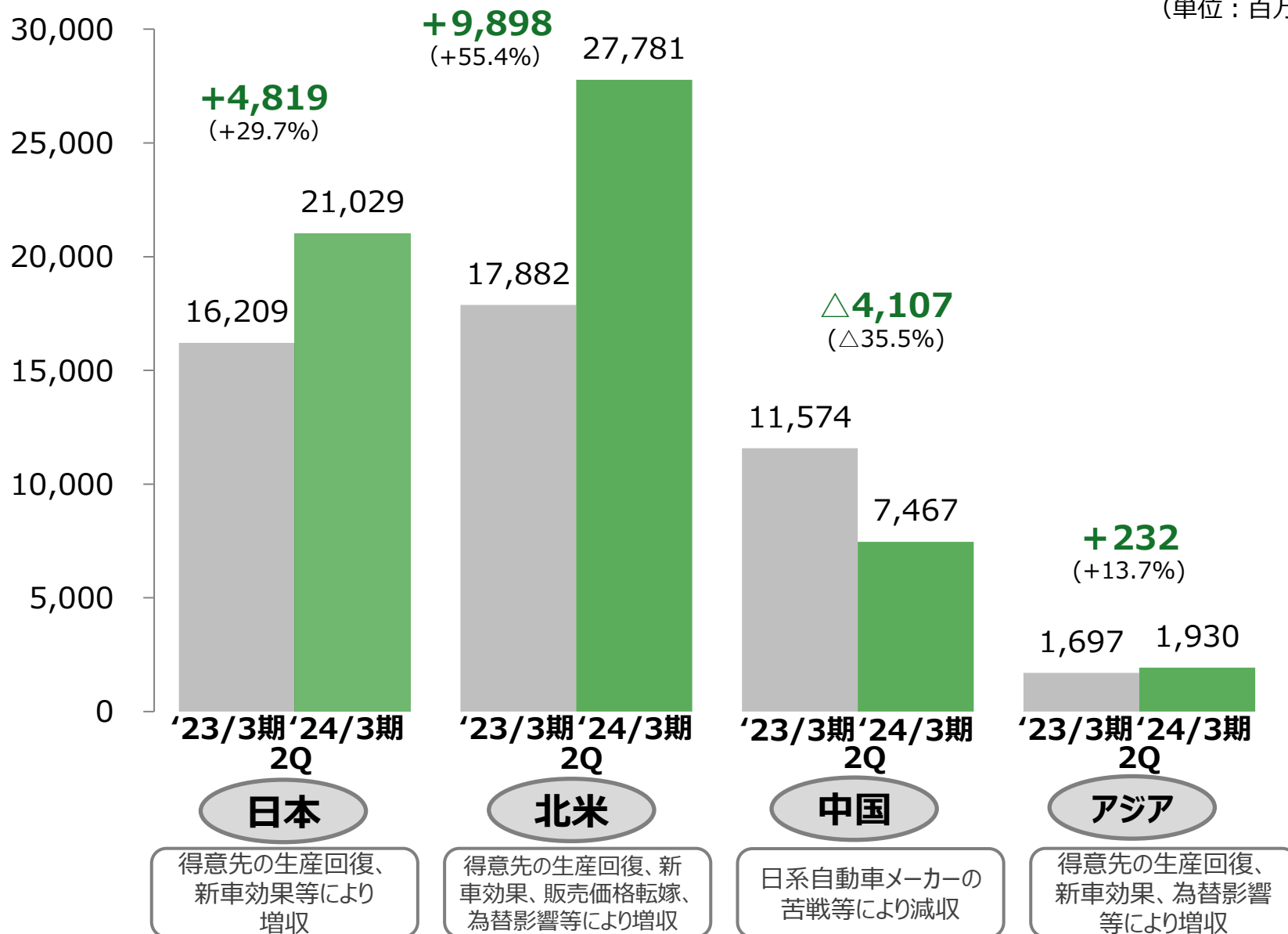
	2023年3月期 第2四半期		2024年3月期 第2四半期		対前年比	
					増減	伸率
売上高	47,364	100.0%	58,208	100.0%	10,844	22.9 %
売上原価	44,777	94.5%	52,309	89.9%	7,532	16.8 %
売上総利益	2,587	5.5%	5,899	10.1%	3,311	128.0 %
販売費及び一般管理費	3,872	8.2%	4,174	7.2%	302	7.8 %
営業利益又は 営業損失(△)	△ 1,284	△ 2.7%	1,724	3.0%	3,009	—
経常利益又は 経常損失(△)	△ 796	△ 1.7%	2,110	3.6%	2,907	—
親会社株主に帰属する四半期 純利益又は親会社株主に帰属 する四半期純損失(△)	△ 1,471	△ 3.1%	1,829	3.1%	3,301	—
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失(△)	△ 79.96円		95.64円		—	—
1株当たり配当金	5.00円		7.50円		—	—
設備投資額	2,601		1,487		△ 1,114	△ 42.8 %
減価償却費	2,843		2,802		△ 41	△ 1.5 %
US \$ 換算レート	注1)	124.53円	注2)	136.53円	12.00円	—

注2) 22年1～6月平均レート 注2) 23年1～6月平均レート

(2) セグメント情報 <地域別売上>



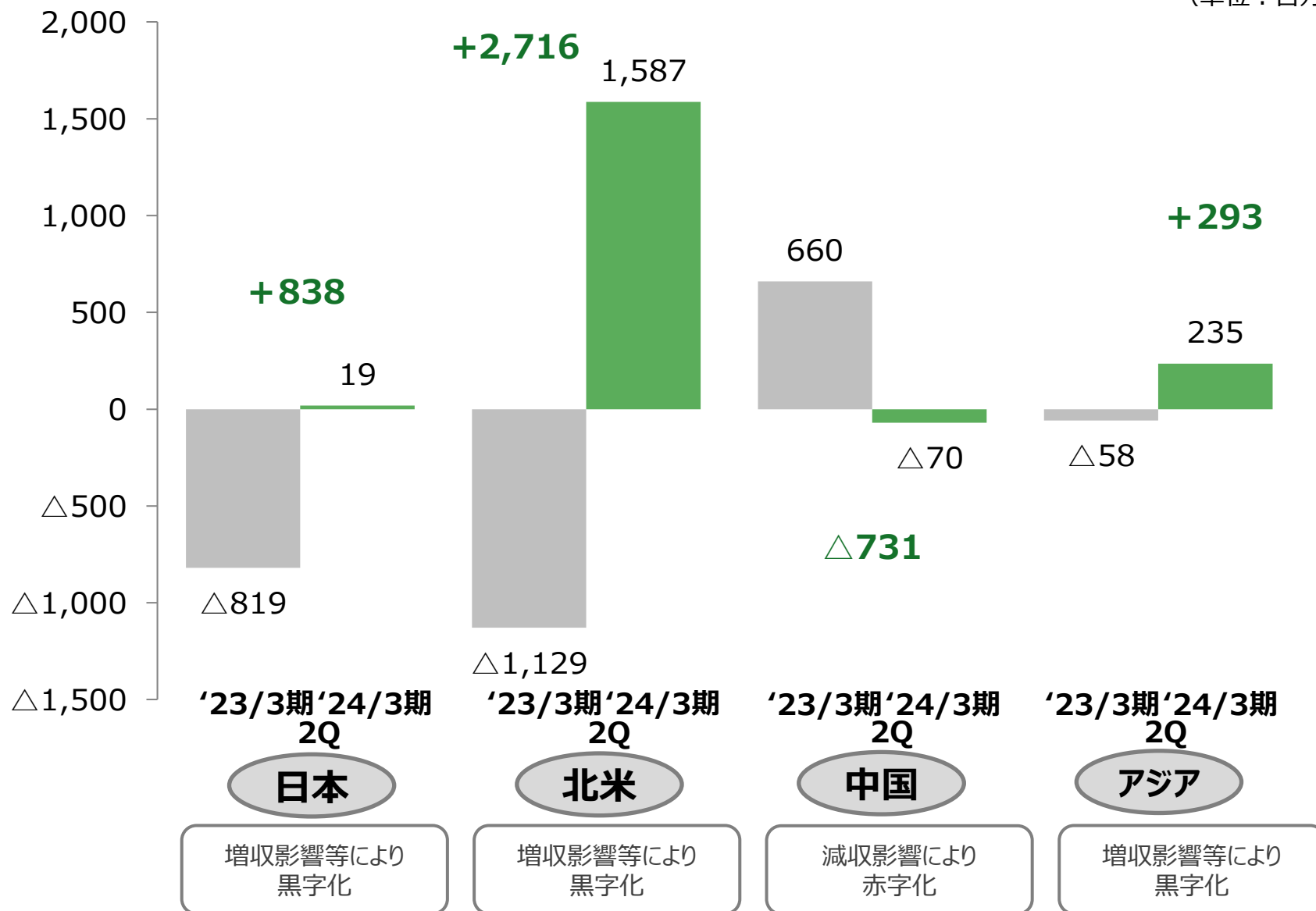
(単位：百万円)



(2) セグメント情報 <地域別営業利益>



(単位：百万円)

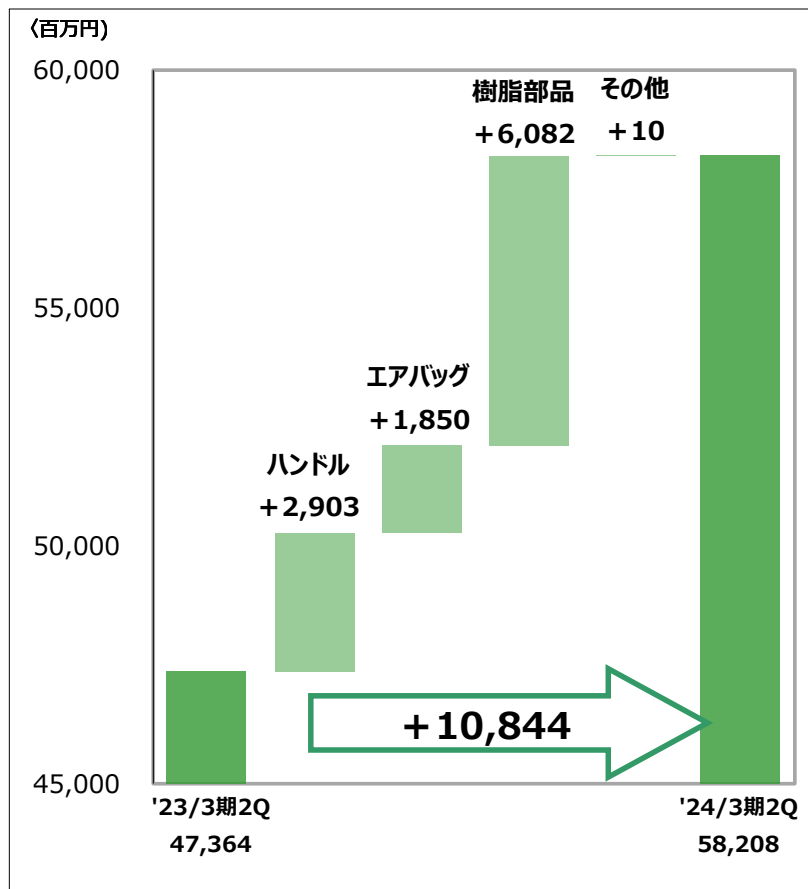


(3) 製品別売上



(単位：百万円)

	'23/3期 2Q	'24/3期 2Q	対前年比	
			増減	伸率
			ハンドル	12,267 (25.9%)
エアバッグ	13,153 (27.8%)	15,001 (25.8%)	1,850	14.1%
樹脂部品	21,485 (45.4%)	27,568 (47.4%)	6,082	28.3%
その他	459 (1.0%)	469 (0.8%)	10	2.2%
連結売上高	47,364	58,208	10,844	22.9%



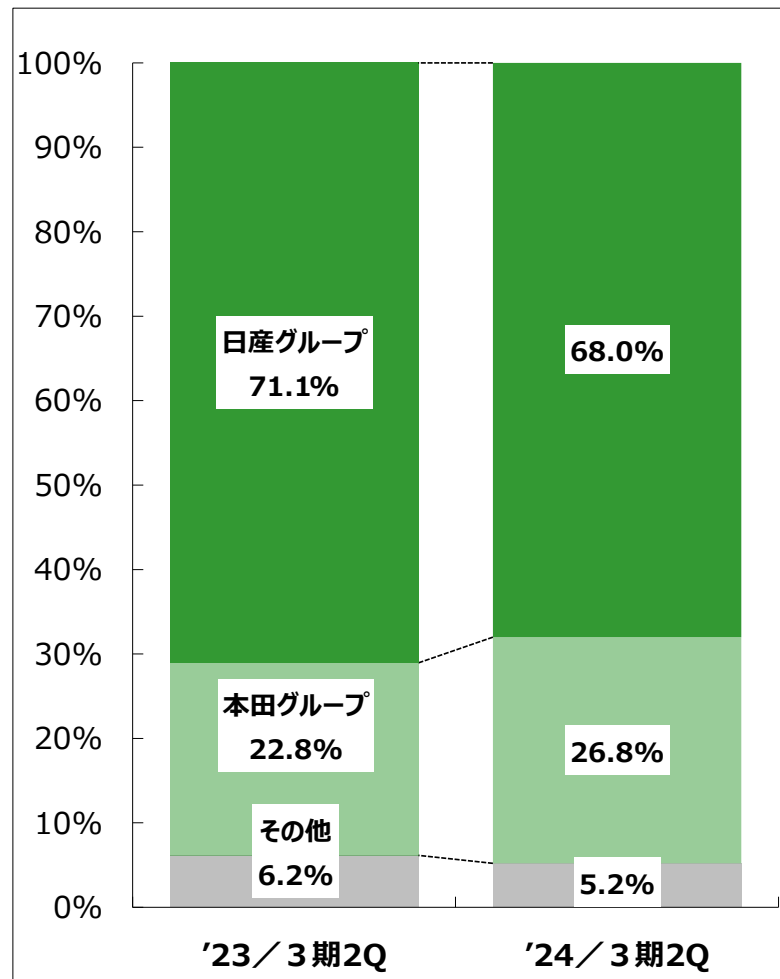
半導体供給不足緩和に伴う得意先の生産回復、新車効果、為替影響等により
全製品で一様に増加

(4) 得意先別売上



(単位：百万円)

	'23/3期 2Q	'24/3期 2Q	対前年比	
			増減	伸率
			日産グループ	33,657 (71.1%)
本田グループ	10,791 (22.8%)	15,619 (26.8%)	4,829	44.8%
その他	2,916 (6.2%)	3,028 (5.2%)	112	3.8%
連結売上高	47,364	58,208	10,844	22.9%

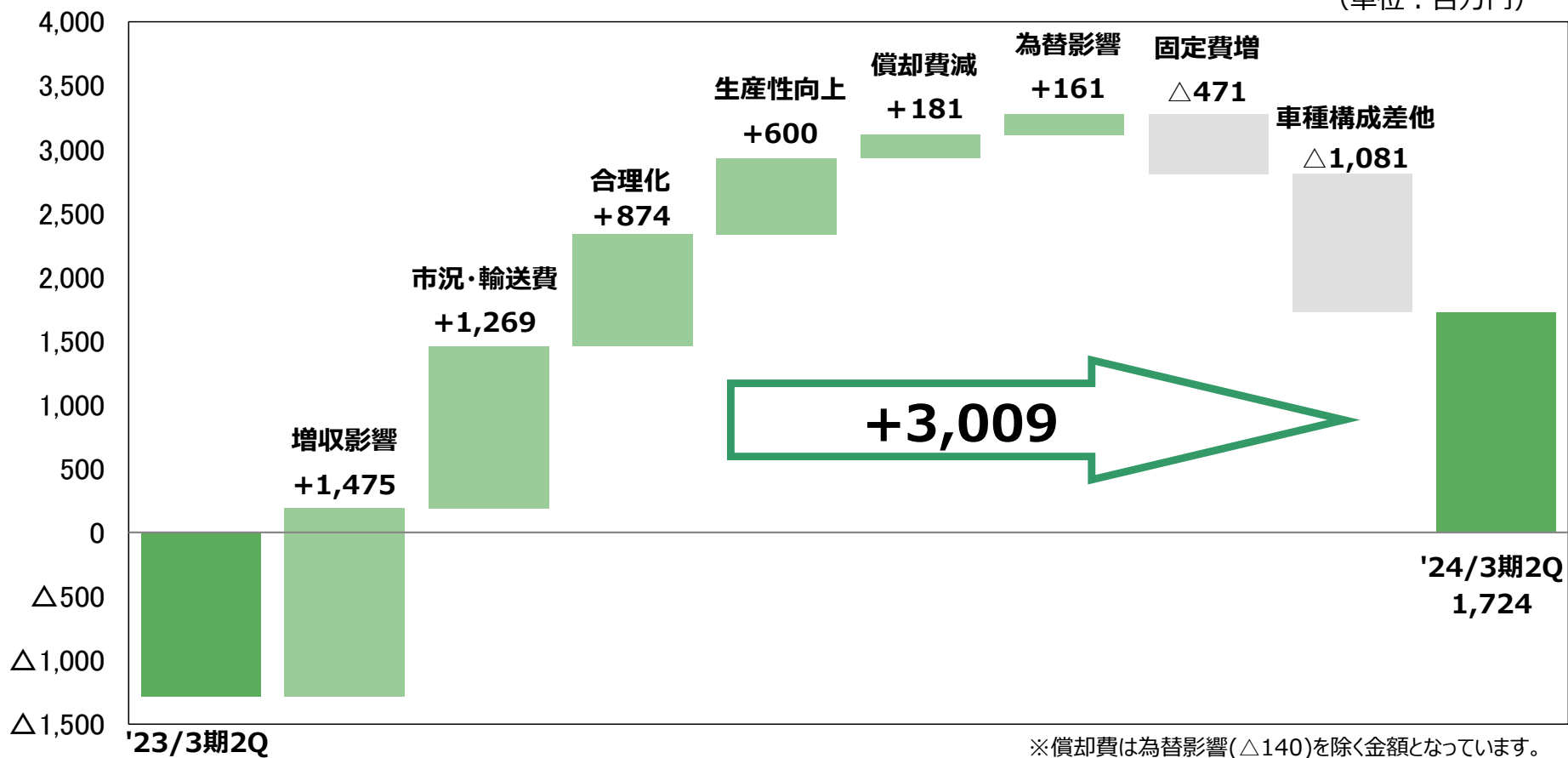


半導体供給不足緩和に伴う得意先の生産回復、新車効果、為替影響等により
全得意先で一様に増加

(5) 営業利益増減説明



(単位：百万円)



収益悪化要因は残存するものの、増収影響、市況・輸送費、合理化による収益改善、生産性向上等により黒字化

(6) B/S主要増減



(単位：百万円)

	'23/3末	'23/9末	前年度末比	主要増減要因
流動資産	46,038	46,015	△ 22	<ul style="list-style-type: none"> ・受取手形及び売掛金 +1,768 ・原材料及び貯蔵品 △ 1,249
固定資産	35,411	36,994	1,582	<ul style="list-style-type: none"> ・投資有価証券 +597 ・有形固定資産 +530
資産合計	81,450	83,010	1,560	

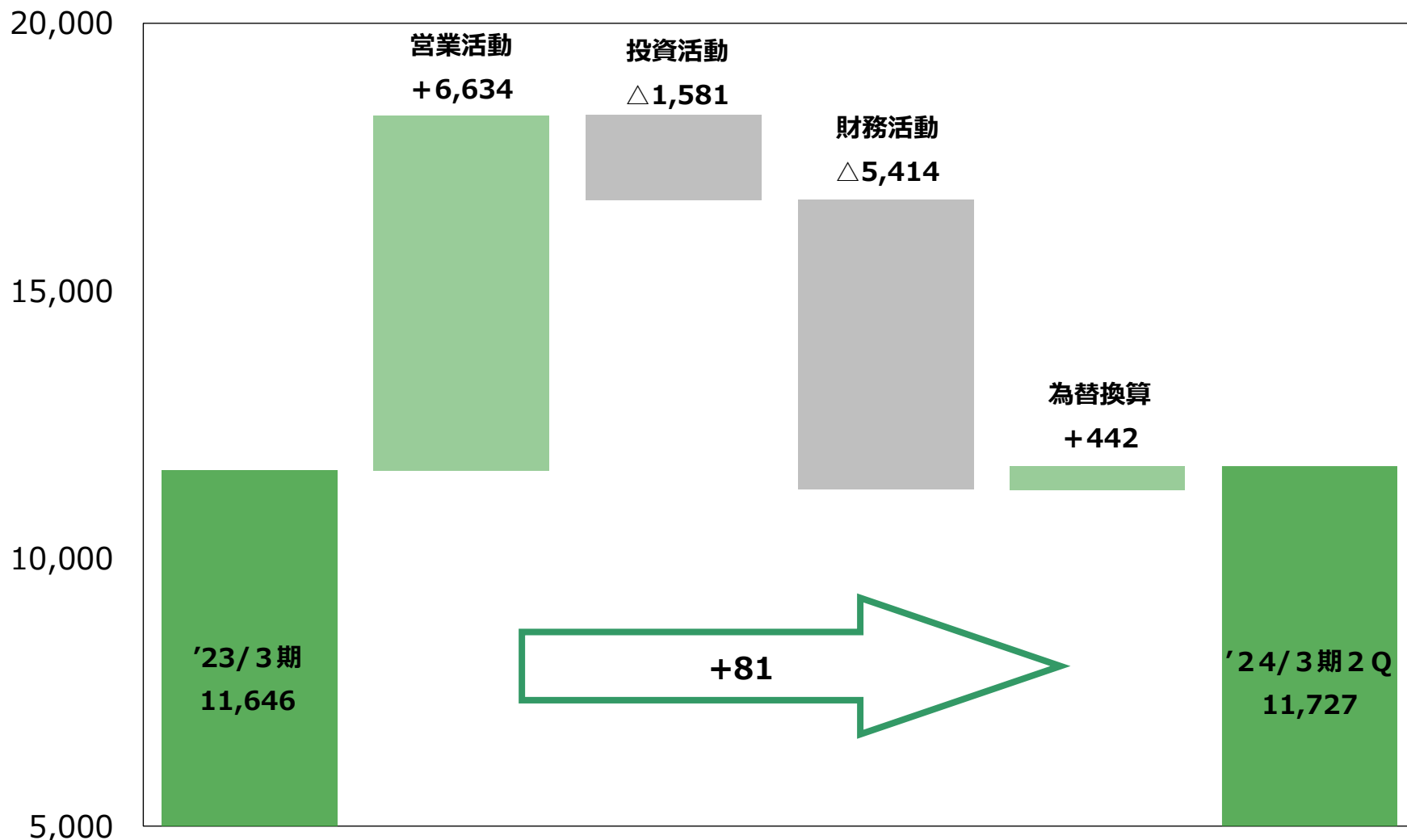
	'23/3末	'23/9末	前年度末比	主要増減要因
流動負債	42,643	41,094	△ 1,549	・短期借入金 △ 2,443
固定負債	12,588	11,602	△ 985	・長期借入金 △ 1,148
純資産	26,219	30,313	4,094	<ul style="list-style-type: none"> ・為替勘算調整勘定 +1,805 ・利益剰余金 +1,732
自己資本比率	32.2%	36.5%	4.3 %	
負債、少数株主持分及び資本合計	81,450	83,010	1,560	

自己資本比率は36.5%

(7) C/F増減



(単位：百万円)

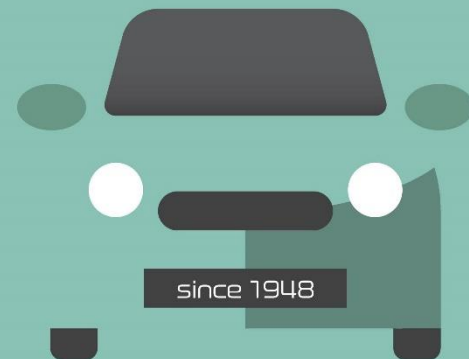


必要な手元資金は十分に確保

I. 2024年3月期第2四半期 決算報告

II. 2024年3月期 通期見通し

III. トピックス



(1) 概要



(単位：百万円)

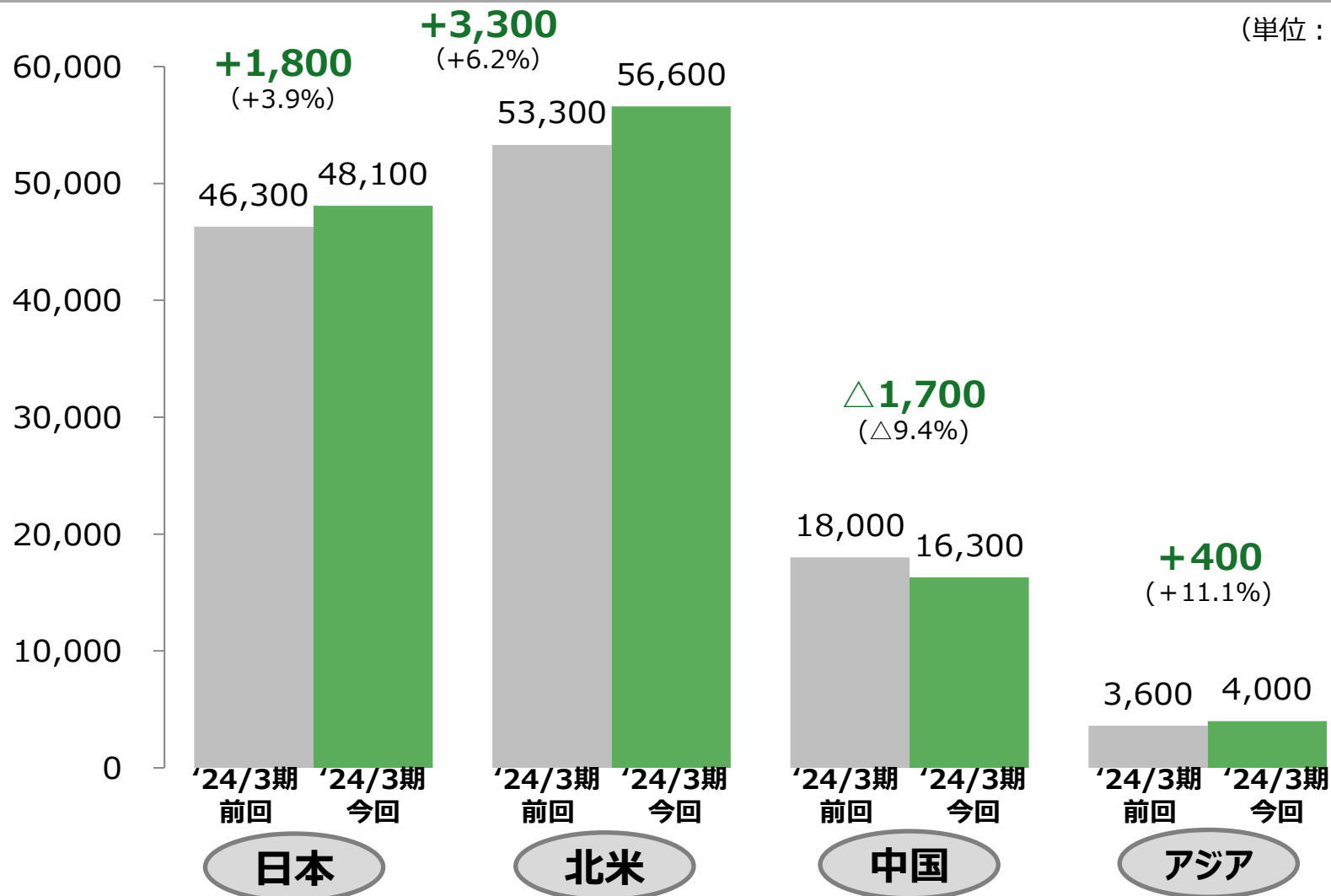
	2024年3月期 連結業績予想 (前回)		2024年3月期 連結業績予想 (今回)		増減	伸率
売上高	121,200	100.0%	125,000	100.0%	3,800	3.1 %
営業利益	1,500	1.2%	2,900	2.3%	1,400	93.3 %
経常利益	800	0.7%	3,000	2.4%	2,200	275.0 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	400	0.3%	2,000	1.6%	1,600	400.0 %
1株当たり当期純利益	20.90円		104.54円		—	—
1株当たり配当金	12.50円		15.00円		—	—
US \$ 換算レート	135.00円		142.00円		7.00	—

2023年5月22日公表の連結業績予想値を修正

(2) セグメント情報 <地域別売上>



(単位：百万円)



得意先の生産台数が
想定を上回ったこと等
により増収

為替影響、販売価格
転嫁等により増収

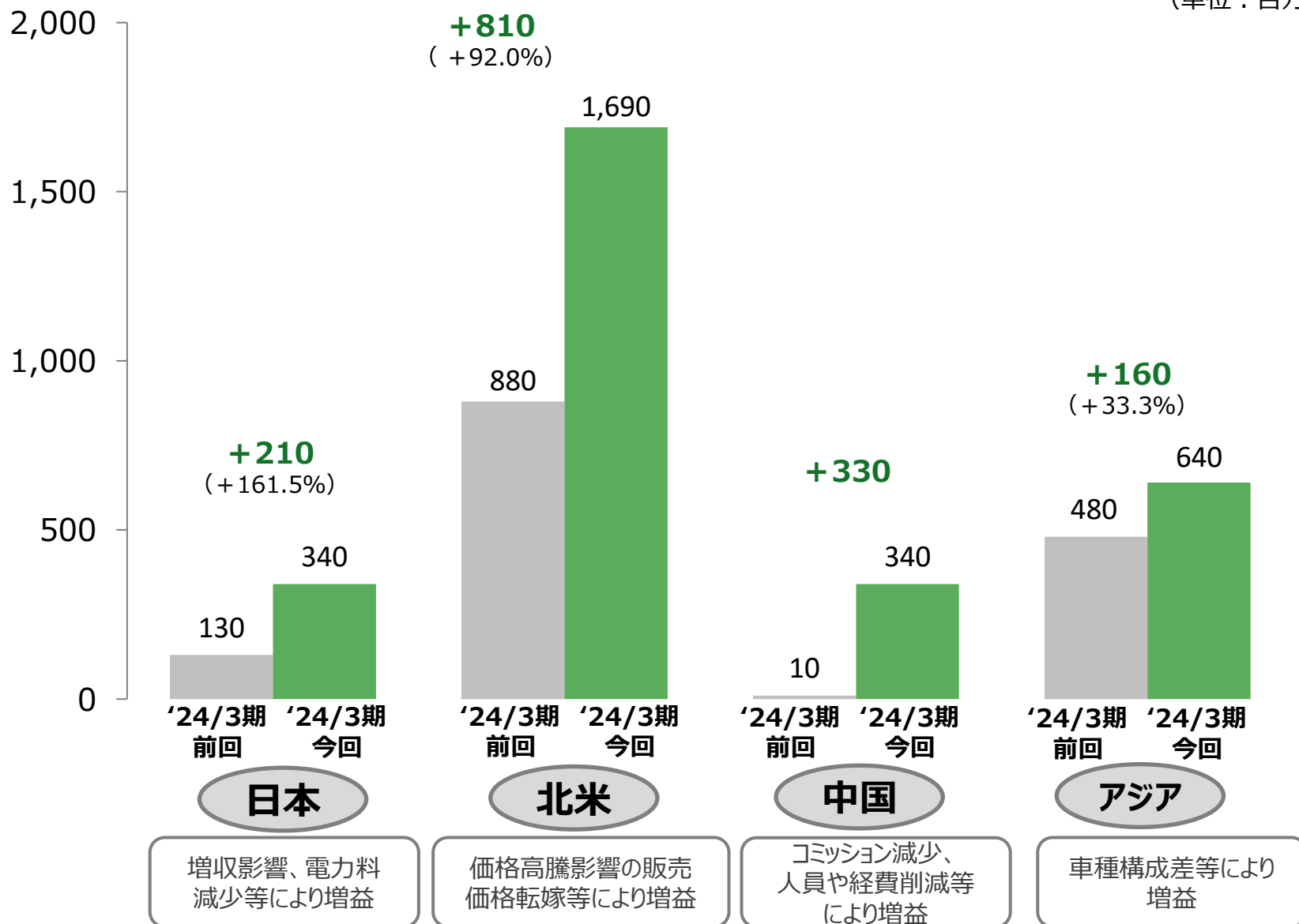
日系自動車メーカーの
苦戦等により減収

為替影響等により
増収

(2) セグメント情報 <地域別営業利益>



(単位：百万円)

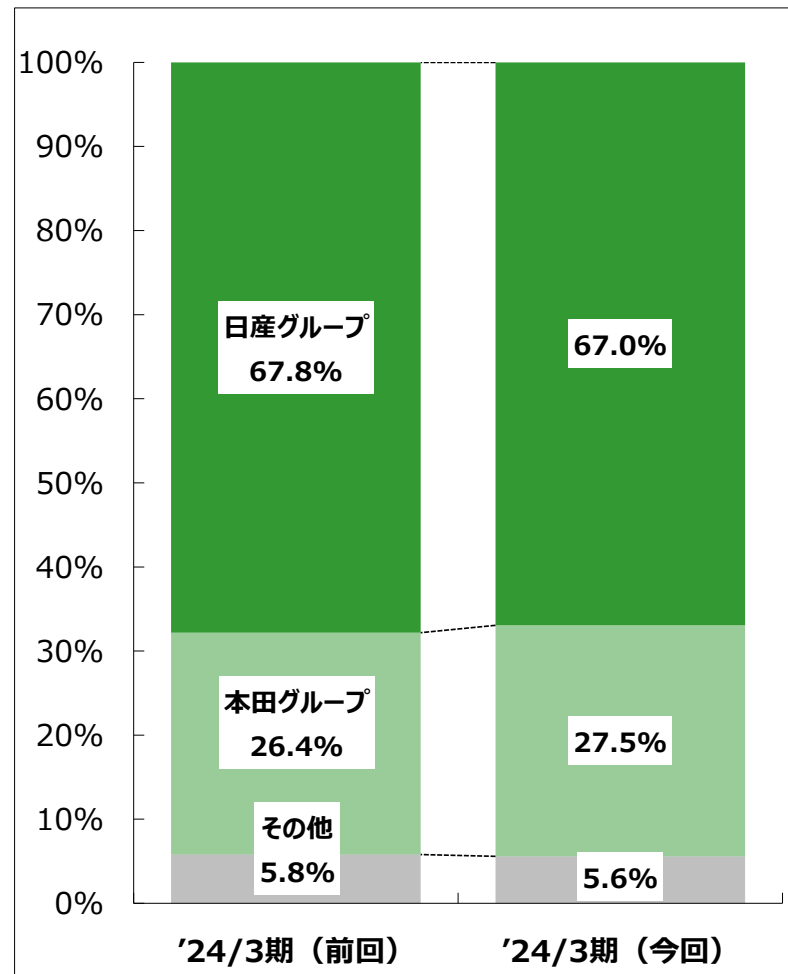


(3) 得意先別売上



(単位：百万円)

	'24/3期 前回予想	'24/3期 今回予想	対前年比	
			増減	伸率
日産グループ	82,210 (67.8 %)	83,718 (67.0 %)	1,508	1.8 %
本田グループ	31,963 (26.4 %)	34,330 (27.5 %)	2,367	7.4 %
その他	7,027 (5.8 %)	6,952 (5.6 %)	△75	△1.1 %
連結売上高	121,200	125,000	3,800	3.1 %

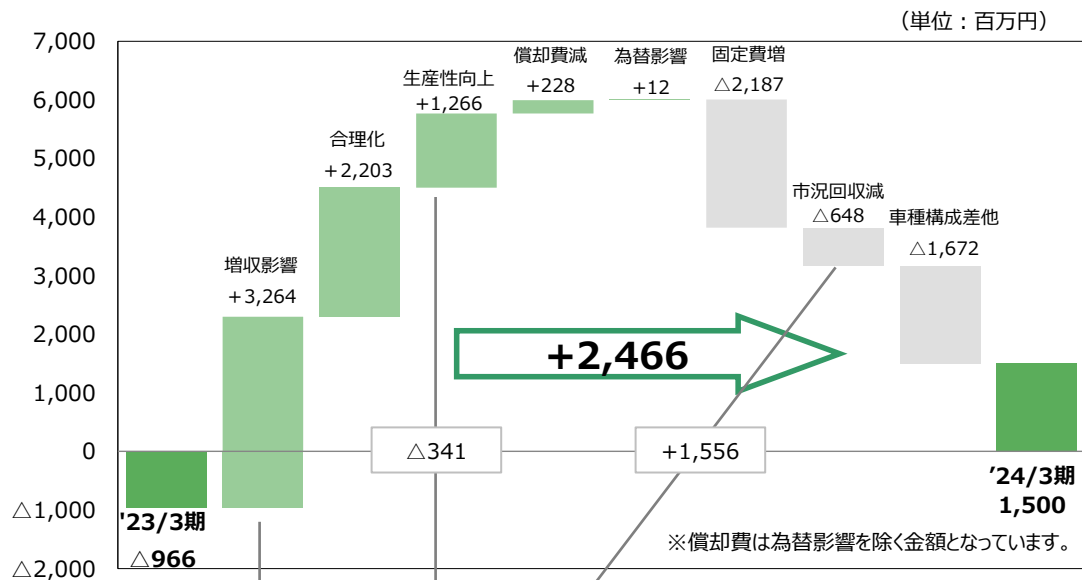


日産、Hondaは為替影響、得意先の生産台数が想定を上回ったこと等により
増加する見込み

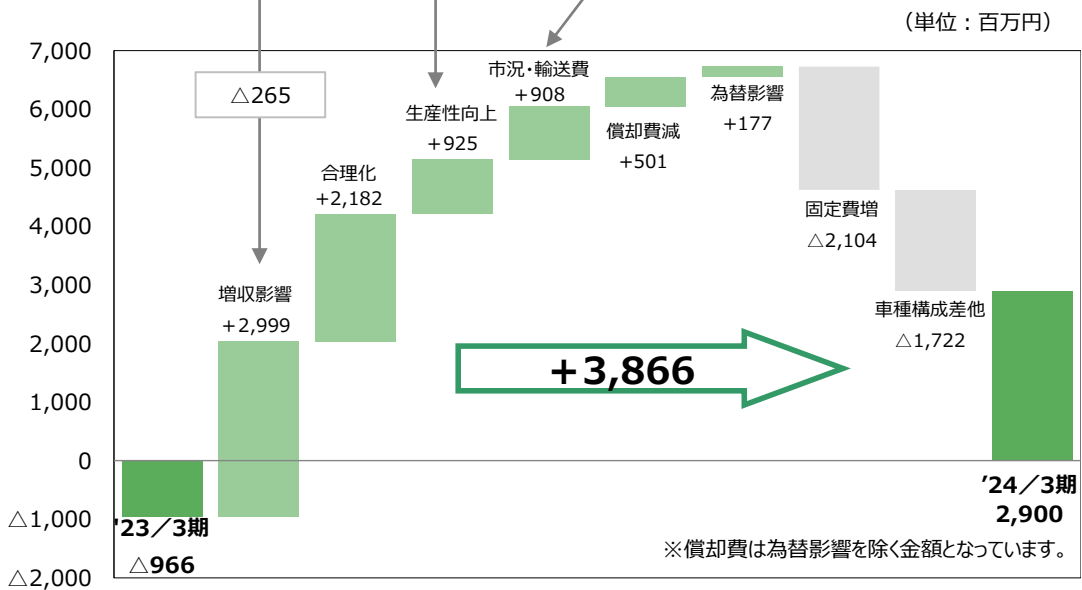
(4) 営業利益増減説明



22年度VS前回予想



22年度VS今回予想

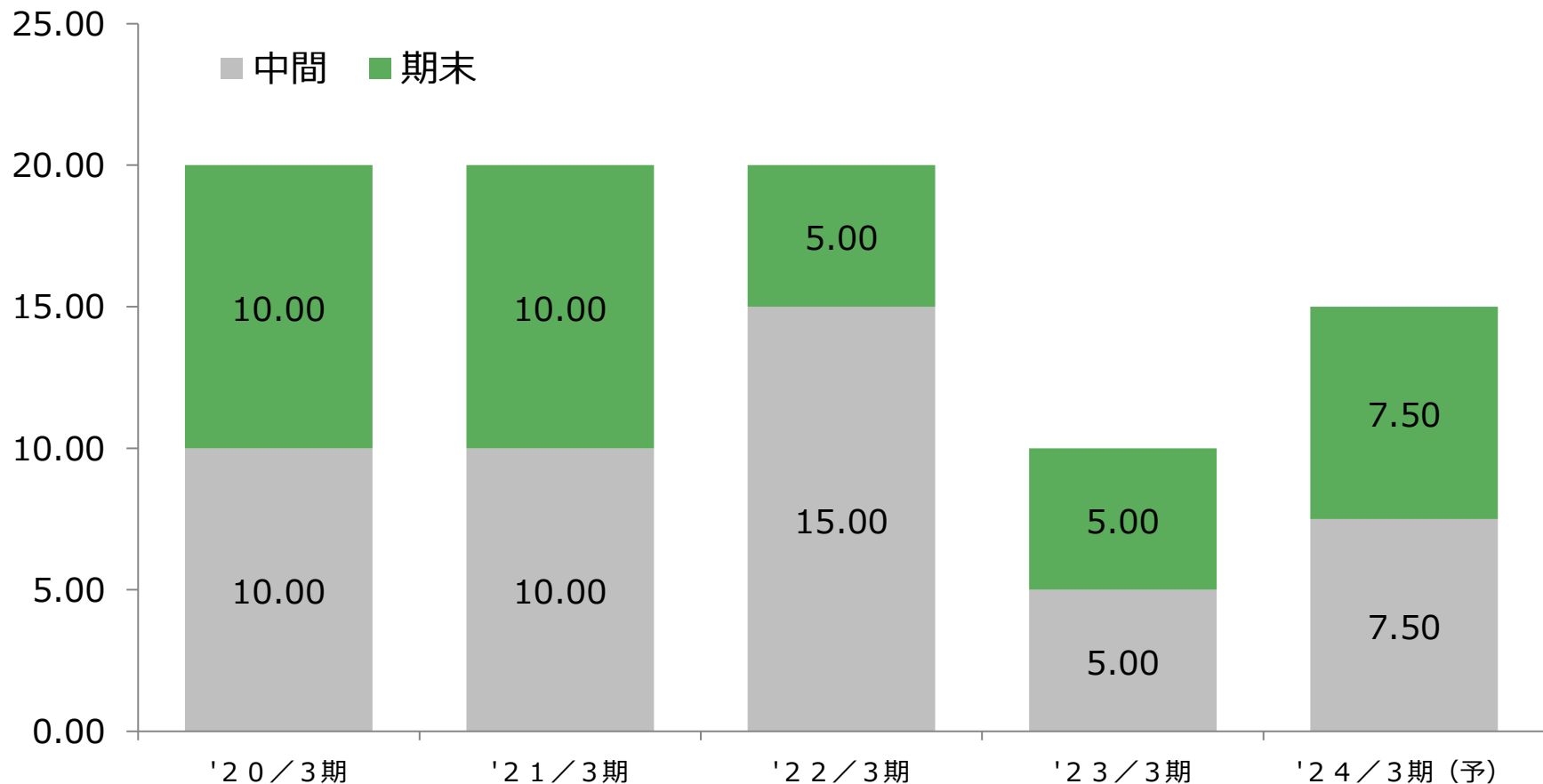


(5) 配当金



(単位：円)

<配当金推移>



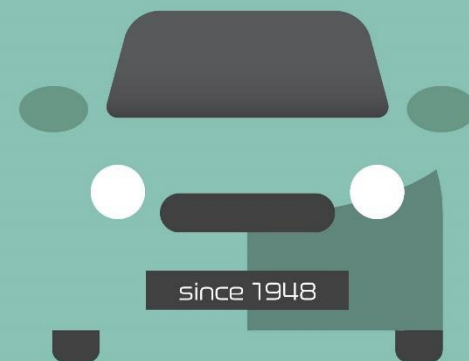
24年3月期の中間配当は前回予想から2円50銭増配し7円50銭

質問	回答
利益が急回復しているが、一過性の要因はあったのか。	当社の業績悪化要因のひとつである原材料価格、輸送費、電力料等の高騰、賃金上昇の影響を販売価格へ転嫁すべく得意先と交渉を続けてきた。前年度は転嫁遅れがあったものの、今年度は一部、遡及の支払いがあったことは一過性の要因といえる。
北米は好調だが、その要因を詳しく教えてほしい。また、今後想定されるリスクはあるのか？	前年度に立ち上がった新車を安定して生産できていることが大きい。また、原材料だけでなく、賃金上昇、輸送費や電力料の高騰影響等を販売価格に転嫁できていること、遡及支払いもひとつの要因。リスクとしては、労務費の増加がある。特にアメリカでは人手不足で採用に苦戦しており、人材を確保するために賃金を上げている。その対策としてメキシコの活用、自動化、省人化等の合理化を進めていく。
中国で日系自動車メーカーが苦戦している要因は？	中国では、EV（電気自動車）シフトが急速に進み、市場ニーズが大きく変化している。中国自動車メーカーのEV車の台頭により、日系自動車メーカーをはじめとするガソリン車の販売が伸び悩んでいることが主な要因。
売上の9割以上を日産とホンダで占めるが、その他のカーメーカーへの拡販はどのように考えているのか。	現状のお客様以外への拡販は強化していきたいと考えている。そのひとつの成果として、この後のトピックスで説明する「いすゞ」向け部品を初受注することができた。今後もさらなる受注拡大を目指し活動していく。

I. 2024年3月期第2四半期 決算報告

II. 2024年3月期 通期見通し

III. トピックス



トピックス_新規受注活動

ホンダ N-BOX (2023年10月6日 日本販売)

5部品採用 内、3部品新規採用

カバーカウルトップ



【当社が受注している部品】

インテリア部品 (2部品)
・空調ダクト 他

エクステリア部品 (3部品)
・カバーカウルトップ 他

新規採用



トピックス_新規受注活動

いすゞ ELF (2023年3月7日 日本発売)

FORWARD (2023年8月29日 日本発売)

いすゞ向け部品初受注 66部品新規採用



小型トラック ELF



中型トラック FORWARD

【当社が受注している部品】

安全部品 (3部品) **新規採用**

- ・ハンドル
- ・運転席用エアバッグ
- ・ホーンパッド

インテリア部品 (63部品) **新規採用**

- ・空調ダクト
- ・エアコン吹き出し口
(センター・サイド・リア)



ELF内装

出典：いすゞ自動車株式会社 <https://www.isuzu.co.jp/>



タイ拠点 納入品質 TOP5社に選出

Nihon Plast Thailand Co., Ltd. (タイ拠点)

タイ日産より 品質賞を受賞

4回目の受賞
インテリア・エクステリア部門において、
納入品質がトップレベルである5社に選出。



北米3拠点の高い品質が評価

Neaton Auto Products Manufacturing Inc. (アメリカ拠点)
Neaton Rome Inc. (アメリカ拠点)
Nihon Plast Mexicana, S.A. de C.V. (メキシコ拠点)

北米日産より 品質マスター賞を受賞

北米3拠点で受賞 ※アメリカ拠点は連名で受賞
安全部品および内外装樹脂部品の品質が高い
トップサプライヤー18社に選出。





持続可能な社会に貢献すべく、活動を実施しました

- ・廃材をアップサイクルした商品を販売する当社オンラインショップ「plus to」リニューアルオープン
- ・はぐくみの森における生物多様性保全活動キラン(環境省レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類)開花宣言
- ・メキシコ拠点 学校に通えない子どもたちを支援する団体の子どもたちの日のイベントに協賛



▲「plus to」で販売している商品

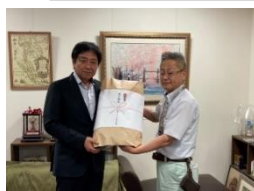
- ・富士山SDGsパートナー交流会にて活動事例発表
- ・「柿田川 自然観察会」に参加
- ・上毛町体育館に備品を寄贈
- ・アメリカ拠点 従業員交流 野球観戦イベント開催



▲柿田川自然観察会



◀はぐくみの森に自生するキラン



▲上毛町体育館に備品を贈呈



富士山SDGs推進パートナー



▲野球観戦イベント



日本プラストはSDGs活動に取り組んでいます

2023年 4月

5月

6月

7月

8月

9月

- ・第12回 潤井川河川敷清掃活動
- ・清掃活動「富士山ごみ減量大作戦」へ参加
- ・メキシコ拠点 テマスカルシゴ市(メキシコ)にユニフォーム寄贈
- ・アメリカ拠点 「アソシエート感謝の日」のイベント開催

- ・第4回「はぐくみの森」森づくり体験
- ・プラスチックリサイクルと地元就職理解促進のため、小学校訪問

- ・わかふじスポーツ大会に協賛
- ・第13回潤井川清掃活動
- ・ファミリー社内見学会開催
- ・アメリカ拠点 カンパニーピクニック開催
- ・メキシコ自治体とSDGs連携継続で合意
- ・メキシコ拠点 CO₂削減の取り組みが評価 自治体より贈呈された記念樹を植樹



▲「はぐくみの森」森づくり体験



▲小学校を訪問し子どもたちと対話



ファミリー社内見学会

にほんふらすと



▲植樹イベント



▲カンパニーピクニック



▲メキシコ自治体を訪問



▲潤井川河川敷清掃活動



▲ユニフォーム寄贈式



▲アソシエート感謝の日のイベント

ご視聴ありがとうございました。

◆決算説明に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。
お問い合わせフォーム：<https://forms.gle/9X9uiCWyA4gNfXDT9>
(受付期限：2023年12月22日)



◆今後の運営の参考にさせていただきますので、よろしければアンケートにご協力ください。
※アンケートにご回答いただいた方、**先着50名に粗品をプレゼント**いたします。
アンケート入力画面：<https://forms.gle/G7CsPk733AEqJRGy7>
(回答期限：2023年12月22日)



オンラインショップ「plus to」

「想いやりを暮らしにplus」をコンセプトに、自動車部品を製造する過程で
排出された廃材をアップサイクルした商品を販売しています。
オンラインショップはこちらから <https://plusto.base.shop/>



オンラインショップ



PLUSTO_NIHONPLAST

インスタグラム

名刺入れ	スマートキーケース	コインケース	デスクマット
ハンドルに使用している本革の端材をアップサイクルした商品			
フクコワ 福52わ	ソウ sou	トライアングル TRY ANGLE	サンカク SANKAKU
島根県江津市とコラボしたコケ商品・NPORUS使用	NPORUS使用	NPORUS使用	本革のアップサイクル商品

- ◆ 本資料に記載の将来予測及び業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。
実際の業績は、様々な要因の変化により、記載されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。